# 「ふるさと学習」

### 1 学習のねらい

郷土の歴史や史跡に関心を持ち、「心のふるさと館」を活用した調査・資料収集と大野城跡でのフィールドワークを通して、郷土の歴史への理解を深め、ふるさとを愛し、誇りに思う態度を養う。

# 2. 指導計画 (7時間)

学習活動<場所>	指導上の留意点	時間
1 事前指導<学校> 学習に見通しを持ち、校外学習 時の注意点等を確認する。	・ふるさと学習を通した課題をつかませる。 ※社会科授業でも関連付ける	1
2 展示見学<心のふるさと館> (※1) 大野城を中心とした大宰府史跡 の概要を学び、フィールドワーク の見通しを持つ。	<ul><li>・大宰府史跡 (大宰府、水城、大野城)の概要を講演してもらう。</li><li>・メモやスケッチをさせながら展示を見学させる。</li></ul>	2
3 フィールドワーク<大野城跡> (※2) 現地調査を通して、史跡の規模 や価値を体感する。	<ul><li>・大野城跡はガイドしてもらう。</li><li>・季節に応じた服装等、安全面に 配慮する。</li></ul>	2
4 まとめ活動<学校> レポートを作成し、交流する。	・学習した内容を、自分の言葉で表現させる。 ・班で交流させ、掲示等で全体に紹介する。	2

### 【レポート内容の例】

心のふるさと館で学習した内容や大野城跡・政庁跡を見学した内容からテーマを決め、「ふるさと大野城の歴史」についてまとめる。

- (※1)生徒数が多い場合、見学日時をずらす等で対応する。
- (※2)雨天時のフィールドワークについて
  - 〈前日が雨、当日が雨や雷の場合〉

百間石垣車窓見学(大野城跡の現地見学なし)に変更し、早めに学校へ移動する。

## 3. 活動場所

- (1)展 示 見 学 大野城心のふるさと館(大野城市曙町3丁目8-3)
- (2)フィールドワーク 四王寺県民の森 (糟屋郡宇美町大字四王寺 207)
- (3)まとめ活動 学校

4. 本時学習の流れ

※は生徒数 100 名以上の場合

	ナロンルル	☆は工作数 100 石以工 V 物 日
時間	学習内容 等 集合・ 点呼等 めあてをつかむ 展示見学で大宰府史跡の概要を つかみ、フィールドワークで史 跡の規模と価値を体感し、学ん だことをレポートにまとめよう。	留意点 ・トイレを済ませて集合 ・点呼、健康観察、諸注意した上で、 学習のめあてを意識させる。
9:00 9:10	学校出発 心のふるさと館 到着 1 展示を見学する。 (1)職員の講話を聞く(30分) (2)展示を見学する(30分) 見学A:15分 見学B:15分	荷物を所定の場所に置く(講座学習室) ☆心のふるさと館に対応依頼 講話(講座学習室) ・・・大宰府史跡、展示の見所等 見学A(水城・大野城シアター) ・・・映像を全編見せた上で、解説をしてもらう。フィールドワークと関連付ける。 見学B(学習交流コーナー) ・・・代表生徒に壁のぼりを体験させる等して、百間石垣の役割を体感させる。
10:10	見学を振り返り、フィールドワークの見通しを持つ 見学のまとめ 古代における九州統治と外交・防衛の最前線が大宰府だった。フィールドワークで実際の大野城の姿を体感しよう。	※半数ずつに分け、「見学→講話」と 「講話→見学」に順番を入れ替える 前半 後半 講話 見学A 見学B 又 見学A 見学B 又 見学B 見学A 講話 Y 見学B 見学A 講話 なまとめの前に、フィールドワークで何を 見たいか、具体的な課題を記述させる。
10:20 10:30 11:00 11:10	退館 バス出発 大野城跡(県民の森) 到着 2 大野城跡でフィールドワー クを行う。(60分) ・城門、土塁、鏡池、礎石群	・退館前にトイレを済ませる ☆ふるさと館職員に対応依頼
12:10	バス出発 学校到着 3 まとめの活動を行う。 (1)レポート作成 (2)レポート交流	<ul><li>・百間石垣(車窓から見学)</li><li>・学校到着後、直接教室へ</li><li>・5、6時間目をまとめに充てる。</li></ul>